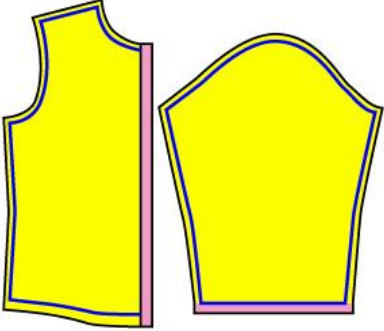
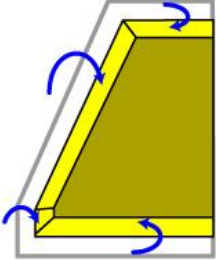

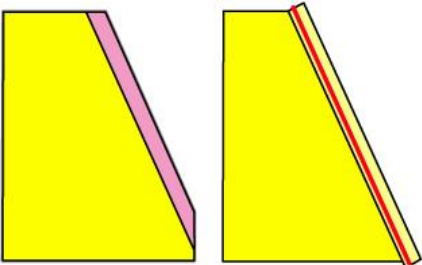
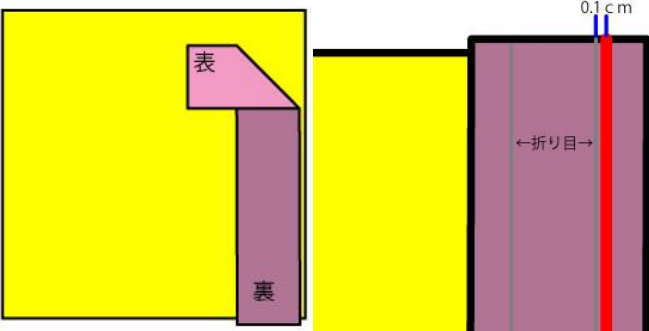
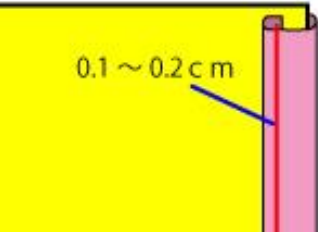
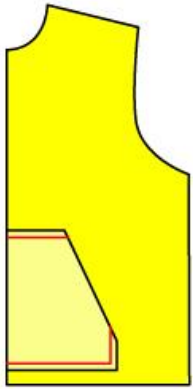
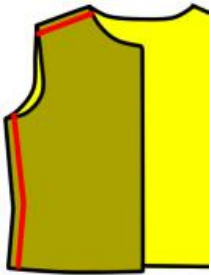
 <p>表 裏 接着芯</p>	<p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。</p> <p>型紙で指示されたパーツの裏に接着芯を付けてください。</p> <p>くわしくは<a href="#">縫う前の下準備</a>にまとめているので見てくださいね。</p>
	<p>前中心にバイアステープをつけたい場合はピンクの所の縫い代を外してください</p> <p>これは前中心とそで口にバイアスをつける場合</p>
	 <p>ポケット口をバイアスで包まない場合</p> <p>アイロンで中心側以外をアイロンで折ってください。</p> <p>熱接着の両面テープを使うと</p>
	<p>バイアスで包む場合</p> <p>バイアスで包むところの縫い代を外してください</p>
	<p>布とバイアステープが表同士が内側になるように重ねてください。</p>  <p>バイアステープの折り目より0.1cm外側を縫ってください。バイアステープを半分裏へ折って端を包んでください</p>

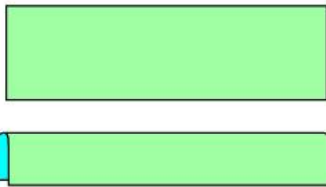


前身頃の上にポケットを置きポケットの手を入れる部分以外を縫って固定してください

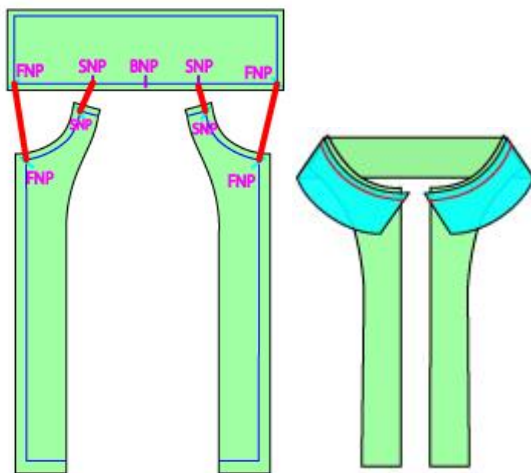


前後の身頃（胴体部分）を表同士が内側になるように重ねてください。

肩と脇を縫ってください。



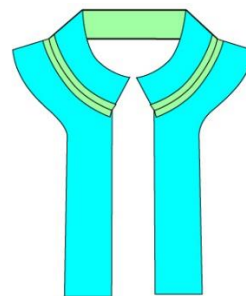
アイロンで軽く折り目をつけて置いてください。  
フリースはしっかり押すと後がつくので軽くでOK



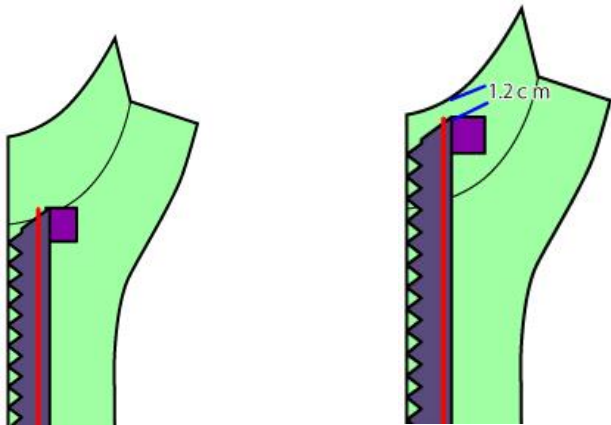
内側 Inside 見返しとえりを内側が表になるように重ねてください。



印同士を合わせてください。



縫い代は左右に広げてください



←えりの下までファスナー    えりまでファスナー→

ファスナーのムシ(レール部分)を見返しの前中心に合わせる。  
 えりぐりの縫い代をよけて、ファスナーの上側を斜め内側に向けて折る。  
 ファスナーのギリギリを縫う。  
 えりまでファスナーをつける場合は、縫い代があるので 1.2cm下のところからつけてください。



オープンファスナーで段差が出来て縫いにくいという場合は、  
 ミシンの押さえをこのような形のファスナー押さえと取り替えてください。



ファスナーの長さ調整にはくいきりという工具有ると便利です  
 (ホームセンターで 200 円くらいであります。100 円均一にもありました)



ファスナーどめの金具

手芸店で 10 個 100 円くらいであります



下



上  
 オープンファスナーや金属ファスナーはサイズ変更は下側でのサイズ変更がしにくいので、上側を調節してください。



くいきりで不要なムシ(レール部分)をとりはずしてください。



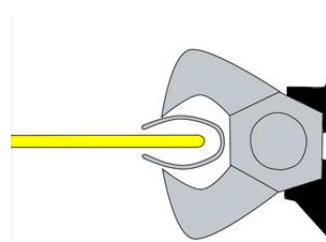
ファスナー金具がつくので、金具の分も外して下さい



左からコイルタイプの樹脂ファスナー  
プラスチックのビスロンファスナー  
金属の金属ファスナー



コイルタイプのファスナーはムシを外さなくてもよいです



ファスナーどめの金具でファスナーをはさむ



えりと身頃（胴体部分）を表同士が内側になるように重ねてください

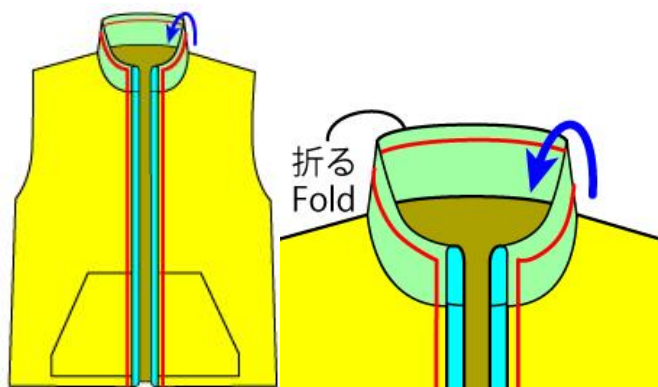


身頃と、見返し、両方のえりぐりに切込みを入れてください。

縫い代をアイロンで上下に広げてください。

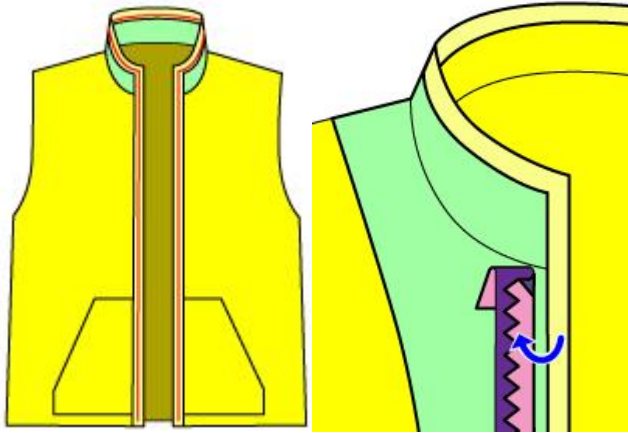


すそにバイアステープをつけない場合はその縫い代(端から2cm)を縫ってください



見返しを内側に入れてください

前中心とえりを端から2~3mmの所を縫ってください。



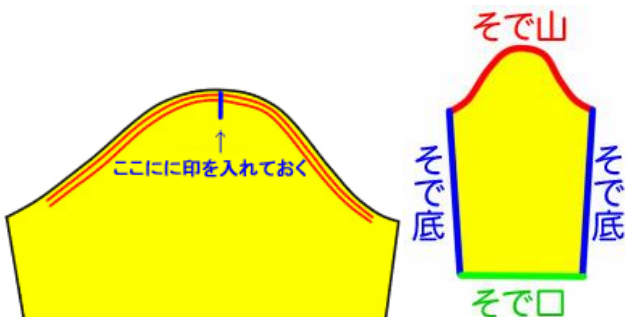
縁取りをするときに、ファスナーはよけて縫ってください。



すそを2cmで折っての端から1.5cmの所を縫ってください。

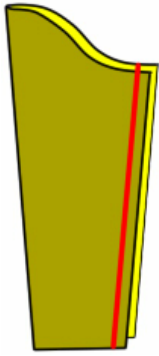


### 袖のつけ方



そで山

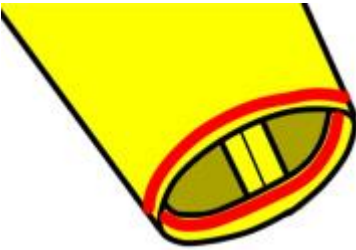
にはそでを立体にする為に余裕が入れられています。  
ギャザーを寄せて縮めてそでを立体にしてください



糸調整を元に戻します

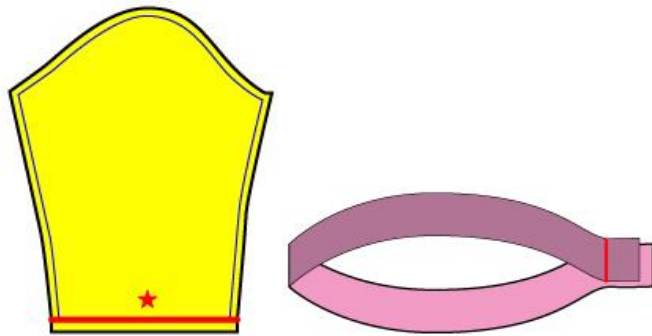
次に袖底を中表(縫い合わせようとする面が表同士になるように合わせることにし、赤い部分を縫ってください。

バイアステープで包まない場合



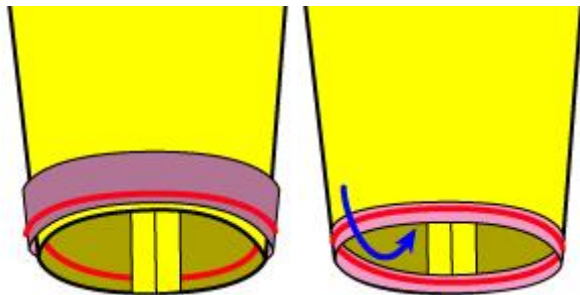
そでを表側にひっくり返してください。  
そで口の縫い代を内側に折ってください。  
0.8~0.5mmの所を縫ってください

バイアステープで包む場合



型紙のそで口の長さを(縫い代を含めて)はかってください=★。

★の長差でバイアステープを切って、内側が表になるように折ってください  
縫い代1cmでバイアスの端を縫ってください



そでとバイアステープを表が内側になるように重ねてください。  
バイアスの折り目より1mmそで口側を縫ってください。  
バイアスでそで口を包んでください。  
バイアスを縫って固定してください



### 必要な道具

表布 オープンファスナー、接着芯、バイアステープ

バイアステープの量は、バイアスをつけたい部分の長さをメジャーで直接はかって2~30cm以上長めに購入してください。

## このデザインに使いやすい生地

### フリース

#### 厚手のニット

改造パーツのフードの型紙と組み合わせてパーカーを作ってもいいですね

#### ツイルで作ると普通のハイネックのジャケットになります

中厚地の生地なので縫いやすいです。カジュアルでザクツとした感じのデザインにしたいときにどうぞ。

必要な生地の量は、布の幅によって変わってくるので、デザイン画を持って行けばお店によっては店員さんが計算してくれたりしますよ。